

さかいまち 議会だより

No. 155

平成23年8月1日発行

編集発行・茨城県境町議会
広報編集委員会

〒306-0495 境町391-1
TEL. 0280-81-1316
FAX. 0280-87-5873

ホームページアドレス
<http://www.town.sakai.ibaraki.jp>

改選により正副議長決まる

平成23年第2回定例会が6月6日から10日まで開催され、初日に木村信一議長及び倉持功副議長の辞職に伴い、正副議長の改選と任期切れによる新たな常任委員及び広域組合議員等が選任されました。



副議長
新谷 一男



議長
橋本 正裕

議長就任のあいさつ

はじめに、この度の東日本大震災は未曾有の大災害となりましたが、犠牲となられました皆様方に謹んで哀悼の意を表しますとともに、本町をはじめ罹災されました皆様方に衷心よりお見舞いを申し上げます。

この度、6月6日の第2回定例会において、議員の皆様にご推挙いただき議長に選出されました。

この職責の重さを十分認識し、町民の皆様が夢と希望の持てる街・さかいを目指し、誠心誠意、全力を尽くす決意でございます。

現在、町政を取り巻く環境は、少子高齢化に伴う福祉、教育など様々な課題が山積しており、また、東日本大震災により、防災に関する課題も浮き彫りとなりました。

一方、本町においても、巨大地震の国内経済への影響や、世界的な景気の先行き不透明感などにより、町財政は、今後、一層厳しい状況に直面することが予測されています。

このような中、町民生活に最も身近にあり、その責任を担う基礎的自治体である境町は、どのような時代状況にあっても、あるべき「境町の将来像」を見据え、町政を進めていくことが大切であると私は思います。

今後、町議会は、町民の皆様と共に、「安心・安全のまちづくり」を基本姿勢とし、コミュニティの再構築、福祉や子育て支援、教育の充実、防災・環境対策など、町民サービスの更なる向上を目指し、諸課題の解決に向け、全議員の力を結集し、取り組んでまいりたいと存じます。

今後とも町民の皆様のご理解とご協力を心からお願い申し上げ、就任の挨拶とさせていただきます。

副議長就任のあいさつ

この度、第2回6月定例議会において、副議長の選任をいただき身に余る光栄に存じますとともに、責任の重さを痛感しております。

3月11日14時46分、茨城県を含む東北三県の大震災で被災されました方々の一日も早い復興をお祈りいたしますと共に亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げます。

また、予期せぬ原発事故による農業、酪農業、茶業等数多くの問題が山積されています。この諸問題を解決していかなければなりません。

圏央道関係では平成24年度開通予定が平成26年度へとなり、境インターチェンジ（仮称）周辺開発等しつかり行っていく事が境町にとって財政の立て直し、雇用拡大へ繋げていく事が重要な取り組みであると思います。

町執行部ともども邁進して行かなければならないと思います。議員をサポートしてまいります。

これからも町議会に対するあたたかいご支援、ご協力を心からお願い申し上げます。ご挨拶いたします。

新しい議会の構成

議長 橋本正裕 副議長 新谷一男

常任委員会								
総務委員会			教育民生委員会			産業建設委員会		
委員長	関	稔	委員長	中村治雄		委員長	須藤信吉	
副委員長	飯田	進	副委員長	渡邊 昇		副委員長	田山文雄	
委員	齊藤政一		委員	新谷一男		委員	齊藤政雄	
委員	木村信一		委員	内海和子		委員	橋本正裕	
委員	濱野健司		委員	倉持 功				

議会運営委員会		
委員長	齊藤政一	
副委員長	渡邊 昇	
委員	中村治雄	
委員	関 稔	
委員	須藤信吉	

広報編集委員会		
委員長	内海和子	
副委員長	濱野健司	
委員	田山文雄	
委員	渡邊 昇	
委員	飯田 進	

議会から選出された組合議会議員等は次のとおりです

さしま環境管理事務組合議会議員（3名）		齊藤政一、関 稔、倉持 功
茨城西南地方広域市町村圏事務組合議会議員（2名）		橋本正裕、中村治雄
茨城県後期高齢者医療広域連合議会議員（1名）		橋本正裕
境町水道事業審議会委員（5名）		新谷一男、齊藤政雄、中村治雄、齊藤政一、飯田 進
(財)境町開発公社役員	理 事（3名）	内海和子、須藤信吉、飯田 進
	監 事（1名）	倉持 功
境町土地開発公社役員	理 事（3名）	中村治雄、田山文雄、渡邊 昇
	監 事（1名）	木村信一
境町行政改革推進協議会委員（5名）		齊藤政雄、中村治雄、齊藤政一、内海和子、飯田 進
境町社会福祉協議会役員	理 事（2名）	橋本正裕、新谷一男
	評議員（2名）	中村治雄、渡邊 昇

平成23年第2回定例会に提出された議案の内容と審議結果

条例の改正

○専決処分の承認を求めることについて（境町国民健康保険税条例の一部改正）

〔即日原案承認〕

地方税法施行令の一部を改正する政令が3月30日公布、4月1日施行され、国民健康保険税の賦課限度額を引き上げる改正がされたことにより、専決処分したものの、

○専決処分の承認を求めることについて（境町税条例の一部改正）

〔即日原案承認〕

東日本大震災に係る雑損控除額等の特別措置、住宅借入金等特別税額控除の適用期限の特別措置、固定資産税の特別措置を被災した方が受けるために、地方税法の一部を改正する法律が4月27日公布同日施行されたため専決処分したものの、

○境町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例案

〔原案可決〕

平成22年度末をもって、境町立ふれあいの里幼稚園が廃園になったことから条例の一部を改正するもの。

○境町土地開発公社定款の変更

〔原案可決〕

土地開発公社経理基準要綱の一部改正に伴い、財務諸表にキャッシュ・フロー計算書を追加するとともに、公社の資産のうち「運用財産」を削るため定款を変更するもの。

○境町議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例案

〔即日原案可決〕

議長、副議長及び議員の就任又は退職等に係る報酬の支給について、月額から日割り支給にするため、所要の改正をするもの。

補正予算

○専決処分の承認を求めることについて（平成22年度境町一般会計補正予算（第7号））

〔即日原案承認〕

歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ2千9万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ86億7千361万5千円とするもの。

○平成23年度境町一般会計補正予算（第1号）

〔原案可決〕

歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ4千470万3千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ84億3千770万3千円とするもの。

○平成23年度境町国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）

〔原案可決〕

歳入歳出予算の総額から、歳入歳出それぞれ157万円を減額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ31億1千943万円とするもの。

○平成23年度境町後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）

〔原案可決〕

歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ24万2千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出そ

れぞれ3億5千794万2千円とするもの。

○平成23年度境町介護保険事業特別会計補正予算（第1号）

【原案可決】

歳入歳出予算の総額から、歳入歳出それぞれ145万2千円を減額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ13億6千954万8千円とするもの。

○平成23年度境町公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）

【原案可決】

歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ761万7千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ8億2千561万7千円とするもの。

○平成23年度境町農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）

【原案可決】

歳入歳出予算の総額から、歳入歳出それぞれ631万4千円を減額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ2億4千568万6千円とするもの。

町道路線の認定・廃止

○境町大字長井戸字立野地内において、町道112号線の供用開始に伴い各路線に変更が生じたため認定・廃止をするもの。

【原案可決】

・起点・終点
境町字松ノ岡2184番3地先、
大字長井戸字立野1738番1地
先
・延長 628・9m

廃止 町道1661号線

【原案可決】

・起点・終点
境町字松ノ岡2195番3地先、
大字長井戸字立野2855番1地
先
・延長 587・4m

○境町大字上小橋字長五郎分地内、及び境町字清水台地内において、都市計画道路松岡町・上小橋線の供用開始に伴い各路線に変更が生じたため認定・廃止をするもの。

【原案可決】

・起点・終点
境町字六夜塚178番1地先、
同178番9地先
・延長 93・0m

廃止 町道2064号線

【原案可決】

・起点・終点
境町大字上小橋字長五郎分43番
地先、境町字六夜塚178番1地
先
・延長 183・5m

廃止 町道2065号線

【原案可決】

・起点・終点
境町字清水台119番31地先、
同116番4地先
・延長 49・2m

人事案件

○境町監査委員の選任につき同意を
求めることについて
（斉藤 満監査委員の任期満了によ
るもの）

【即日原案同意】

・住 所 境町1511番地1
・氏 名 鈴木 眞吾
・生年月日 昭和31年9月5日生

○境町固定資産評価員の選任につき
同意を求めることについて
（税務課長の人事異動によるもの）

【即日原案同意】

・住 所 境町大字長井戸215
番地1
・氏 名 佐藤 友久

・生年月日 昭和32年4月6日生
○境町教育委員会の委員の任命につ
き同意を求めることについて
（任期満了に伴い再任するもの）

【即日原案同意】

・住 所 境町881番地1
・氏 名 武井 貞男
・生年月日 昭和16年6月5日生

請願・陳情審査結果

○大幅増員と夜勤改善で安全、安心
の医療・介護を求める陳情

【採択】

陳情者
水戸市城南319120
茨城県医療労働組合連合会
執行委員長 大内 努

意見書の提出

政府関係機関へ次の意見書を提
出しました。

○大幅増員と夜勤改善で安全、安心
の医療・介護を求める意見書

提出先 内閣総理大臣ほか5名
○福島第一原子力発電所事故に関す
る意見書
提出先 内閣総理大臣ほか5名

平成23年第2回臨時会

平成23年7月15日開会
○専決処分承認を求めることにつ
いて（境町税条例の一部改正）

【即日原案承認】

個人住民税の控除対象寄附金の拡
大等地方税法の一部を改正する法律
が6月30日公布、同日施行されたた
め専決処分したもの。

○工事請負契約の締結について

【即日原案可決】

・契約の目的
平成22年度（繰越）境町立境小学
校体育館耐震補強工事
・契約の方法
一般競争入札
・契約金額
1億80万円
・契約の相手方
中和・福島特定建設工事共同企業
体

一般質問

議席12番 齊藤 政一 議員



○境町総合計画（都市計画マスター
プランも含む）について
Q.第5次境町総合計画策定の行程管
理について

条例で、境町総合計画審議会は、
町長の諮問に応じ、総合計画の策定
その他その実施に関し、必要な調査
及び審議をする。委員の任期は2年
と定めてある。第4次総合計画策定

経過では、第1回審議会が15年2月
25日に開催諮問を受け、第2回審議
会が同年2月28日に開催され、答申
が決定されている。後期基本計画に
おいても、第1回が20年1月16日に
開催諮問を受け、同年3月26日に第
2回審議会が開催され、答申が決定
されている。審議会条例の所掌事務
と任期との整合性について。

A.総合計画の策定に当たっては、庁
内の職員で組織する策定委員会を中
心に作業部門であるワーキング委員
会と具体的な策定作業を行い、その
計画の素案をもとに町長が総合計画
審議会に諮問し、審議会が答申を出
すという行程で行ってきた。条例で
は任期は2年となっているが、計画
書の素案が出来上がった段階で諮問
しており、結果的に第4次について
は任期の2年目に開催された審議会
の中で決定がされている。

「参事兼まちおこし推進室長」
○都市計画道路横塚一山崎線（国道
354号線バイパス）整備促進の現
況と今後の見通しについて

Q.境町管内都市計画道路国道354
号線は、新4号線横塚地先、山崎線
5.04キロである訳だが、国、県へ
の要望や整備計画決定等の資料につ
いても一貫性がない。具体的施策と
の整合性をどのように位置付け進め
てきたのか。

A.国道354号線境一岩井バイパス
は圏央道境インターチェンジへのア
クセス道路として、平成13年度に国
補事業として採択され、事業着手が
されている。優先区間として県道結
城一野田線から若一境線までの2km
が位置付けられ、中でも結城一野田
線から町道117号線までの940m
が重点区間として整備されており進
捗率は約36%である。計画道路は当
初から横塚から山崎までであり、今

後も結城・野田線からの西側ルート
の早期事業化に向けて国・県に要望
していく。

〔産業建設部長〕

その他、都市計画道路松岡町上
小橋線の延伸（特に西側塚崎方面）
等都市計画道路の再検討についての
質問をした。

議席3番 渡邊 昇 議員



○当庁の節電対策について

Q.サマータイムの導入は。

A. 境町の節電対策については、「境
町節電対策委員会」を設置し、国の
節電目標15%に合わせ、境町役場内
及び出先機関では、節減目標を達成
するため、チェックシートにて毎日
チェックしている。「サマータイム」
導入については、現時点では「節電
対策委員会」に諮られていない状況
ではあるが、近隣市町の動向や先進
事例などを研究しながら、節電対策
委員会で議題として検討をしていく。

〔副町長〕

○防災対策について

Q.防災無線の屋外スピーカーの設置
の考えは。

A. 全てが網羅できるように、数多く
の屋外スピーカーを設置した場合、
場所によつては、スピーカー同士が
共鳴し、聞きづらくなることもある。

また、近年の家屋は気密性が増し
たため、声が聞き取りにくい。その
一方では、音量を上げることにより
住民からは、騒音被害の苦情も考え
られる。さらに、一機当たりの設置
費用は高額であるため、財政的な問

題もあり、今後の検討課題とさせて
いただきたい。

〔総務部長〕

Q.ハザードマップの見直し進捗は。

A. 町では、今後、町民の皆様に対し
更なる防災意識の向上に努めて参り
たいと考えている。

〔総務部長〕

議席9番 内海 和子 議員



○災害対策について

Q.3月11日の東日本大地震直後から
の町の対策は適切であったか。

A. 直後、災害対策本部を立ち上げ、
翌日には職員全員で町内を巡視、1
174件の被害状況を報告。4月3
日まで、夜9時まで関係各職員で
庁舎内待機。また広報車や防災無線
で、節水をお願いなどした。支援物
資は4月13日に宮城県女川町へ、翌
14日には岩手県滝沢村へ運んだ。被
災地への職員派遣としては、茨城県
高萩市へ6月1日～14日まで、11名
の人的支援をしている。

〔総務部長〕

Q.町の地域防災計画には原発事故の
想定はない。茨城県にも原発はある
ので、取り入れるべきではないか。

A. 今回の事故により、放射能の拡散
等責任の明確化が図られたので原発
を持つ自治体やその周辺では地域の
防災対策の見直しの声がある。国や
県の指導を仰ぎながら早急に策定作
業を進めてまいりたい。

〔総務部長〕

Q.水害を想定してのハザードマップ
や避難場所の周知徹底はなされてい

るのか。また避難場所に住民すべて
が避難できるのか。

A. マップの徹底は広報やホームペー
ジで行う。避難場所にはすべての住
民は避難できないので、民間の3階
以上の建物を利用できるよう検討す
る。

〔総務部長〕

○教育について

Q.震災直後の児童生徒へどのように
対処したか。

A. 各学校とも校長の指導のもとに下
校させた。児童生徒の被害はないが
今後も防災マニュアルの再検証をし
安全に努める。

〔教育長〕

Q.学校の近くで新茶に放射線が検出
された。子供たちの健康が心配であ
る。プールなど大丈夫か。

A. プールの水は検査した安全なもの
なので、心配はない。

〔町長〕

議席7番 田山 文雄 議員



○東日本大震災後における当町の取
り組みと今後の課題について

Q.震災直後の当町の対応と課題につ
いて、又、「被災者支援システム」
の導入や学校施設、公共施設の防災
機能の向上についての当町の考えは。

A. 震災直後に防災対策本部を立ち上
げ町内の被害状況を把握、適切な対
応をしてきたが、職員全体に初動態
勢の周知ができなかったことが反省
するひとつであり、今後は応急対策

の向上に努めたい。被災者支援シス
テムについては十分に研究をして検
討していきたい。今後も、施設の防
災機能の向上を図ることは重要であ
ると考えている。

〔総務部長〕

○放射能についての当町の取り組み
について

Q.原発事故における風評を含む放射
能被害や住民不安の解消にむけて当
町の取り組みは。

A. 町内農業者を支援するために、毎
月1回損失補償額をとりまとめ、県
の協議会に提出する。現在のところ
でも約4億3000万の損害額が出
ている。住民不安の解消については
放射線の測定値などをお知らせして
不安解消に取り組んでいきたい。

〔産業建設部長〕

議会報告会について



境町中央公民館にて

第3回定例会のお知らせ

平成23年第3回境町議会定例会が9月7日(水)から
15日(木)までの会期で開催される予定です。

9月 7日(水)	本会議（開会、提出議案上程・説明）
9月 8日(木)	本会議（一般質問）
9月 9日(金)	本会議（一般質問）
9月12日(月)	決算特別委員会
9月13日(火)	決算特別委員会
9月14日(水)	常任委員会
9月15日(木)	本会議（採決、閉会）

みとして、去る5月15日(日)に中
央公民館において議会報告会を開催
いたしました。
約70名の方に参加をいただき、各
常任委員会委員長より平成23年度の
主な事業と予算の概要についての説
明と二つの特別委員会の活動状況を
報告、質疑応答をして閉会しました。
今後も、議会報告会をはじめ、さ
らに開かれた議会を目指して参りま
すので、町民の皆様のご理解・ご協
力をお願いいたします。

◎広報編集委員会

委員長	内海 和子
副委員長	濱野 健司
委員	田山 文雄
委員	渡邊 昇
委員	飯田 進